

# 語彙の能力を向上させるための「*Word Square*」のメディアの効果

2016/2017年度ジョグジャカルタムハマディア大学日本語教育学科の一年の学習者に対する実験研究

ユルヴィラワティ  
20130830042

## 要旨

本論文は学習者、日本語教育学科の一年の学習者に対する語彙の能力を向上させるための「*word square*」のメディアの効果について書いた。本研究の目的は、学習者に対する語彙の能力を向上させるための「*word square*」のメディアである。被験者は2016/2017年度ジョグジャカルタムハマディア大学日本語教育学科の一年生22人である。データの収集はテストとアンケートによる。

本研究は実験的な方法を使用する。使用されるアプローチは統計を使用して、定量的なデータ処理をする。被験者は二つのクラスに分けた。実験とコントロールのクラスである。データはテストやアンケートから得た。

データ分析の結果によって有意性水準5%、 $t$ 表  $db\ 21 = 2.08$  と  $t$  得点は 1.07 であった。そして、 $T$  得点  $< t$  表、有意性は  $H_k$  拒否され、 $H_0$  断れた。実験のクラスとコントロールのクラスは有意性がなかった。但し、*normalized gain* を使うのは実験のクラスとコントロールのクラスで効果的な実験の平均点はクラス = 0.92 とコントロールのクラス = 0.73 であった。

アンケートの結果によると日本語の語彙の学習するために、「*word square*」のメディアは気持ちを楽しくし、日本語を学ぶために非常に効果的であることが分かった。

キーワード： *Word square*、メディア、語彙、実験研究、語彙の能力の向上

## I. 序論

日本語学習で語彙は主にコミュニケーションの開発に良い。語彙の目的は簡単なコミュニケーションに使用されるための基本的な能力の習得である。それは、聞く、読む、話すと書くことである。学習者のコミュニケーションの困難は語彙の不足と正確なメディアを使用しないことである。そこで、研究者は「*word square*」のメディア研究を行う。「*word square*」という学習のメディアで解答ボックスの形をした。

Fitri 研究の中に「*word square*」のメディアは語彙の学習に非常に効果だと述べている。実験のクラスの *post-test* 平均点は 88.25 とコントロールのクラスの *post-test* 平均点は 75.75 である。データの結果は実験のクラスとコントロールのクラスが違う。この学習のタイトルは語彙の能力を向上させるための「*word square*」のメディアの効果 2016/2017 年度ジョグジャカルタムハメディア大学日本語教育学科の一年の学習者に対して行った実験研究である。

本研究の問題設定

1. 実験のクラスで基本語彙の能力を高めるため、「*word square*」のメディアの結果はどうだろうか。
2. 実験のクラスによって、「*word square*」のメディアはどうだろうか。

研究の目的：

1. 実験のクラスによって、基本語彙の能力を高めるため、「*word square*」のメディアの結果を探る。
2. 実験のクラスによって、メディア「*word square*」を探る。

## II. 本論

### A. データおよび研究の方法

#### 1. 研究方法

本研究は実験法と定量的アプローチを使用する。本研究は二つのクラスを使用し実験のクラスとコントロールのクラスに分ける。実験のクラスは「*word square*」のメディアを使用するとコントロールのクラスは「*word square*」のメディアを使用しない。

#### 2. 研究のインストルメント

本研究でインストルメントはテストとアンケートである。

##### a. テスト

本テストは *pre-test* と *post-test* である。実験のテストは *pre-test* と *post-test* であり、「*word square*」のメディアを使用している。実験のテストの *pre-test* は 2017 年 04 月 10 日と *pot-test* は 2017 年 04 月 24 日に行った。コントロールのテストの *pre-test* は 2017 年 04 月 10 日と *pot-test* は 2017 年 04 月 20 日に行った。

##### b. アンケート

本研究ではアンケートを考えることによって、実験のクラスにとっての「*word square*」のメディアを知る。

#### 3. データの収集方法

本研究でデータの収集はテストとアンケートである。テストは *pre-test* と *post-test* である。平均点の *t* 得点と *normalized gain* を使用する。*t* 得点は優勢の結果を知る。アンケートにより具体的に学習者を知る。

## B. 分析の結果と考察

### 1. 結果のデータのテスト

#### a. データのテスト

結果のテストの *pre-test* と *post-test*。

実験のクラス				コントロールのクラス			
番	被験者	<i>Pre-test</i>	<i>Post-test</i>	番	被験者	<i>Pre-test</i>	<i>Post-test</i>
1	A	3	9	1	L	4.8	9.2
2	B	7.2	9.8	2	M	4.4	6
3	C	6.6	9	3	N	4.6	8
4	D	5.6	9.8	4	O	4.2	9.6
5	E	7	10	5	P	4.4	8.6
6	F	4.6	10	6	Q	4.6	9.4
7	G	5.6	9.8	7	R	4.4	7.2
8	H	7	10	8	S	4.4	9
9	I	8.4	10	9	T	3.8	8.2
10	J	4.2	9.2	10	U	4.6	9.2
11	K	4.6	9.6	11	V	4.6	6
<b>M</b>		46.54	96.54	<b>M</b>		44.36	82.18

- 1) 実験のクラスの平均点は 46.54。コントロールのクラスの平均点は 44.36。実験のクラスとコントロールのクラスは同じ学習の能力である。

2) 実験のクラスの平均点は 96.54。コントロールのクラスの平均点は 82.18。実験のクラスとコントロールのクラスは違う学習の能力である。

b. t 得点

テストの結果は t 得点で計算する。計算の前にテーブルを作成する。

No	X	Y	X	y	$x^2$	$y^2$
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
1	10	9.6	0.3	1.4	0.09	1.96
2	10	9.4	0.3	1.2	0.09	1.44
3	10	9.2	0.3	1	0.09	1
4	10	9.2	0.3	1	0.09	1
5	9.8	9	0.1	0.8	0.01	0.64
6	9.8	8.6	0.1	0.4	0.01	0.16
7	9.8	8.2	0.1	0	0.01	0
8	9.6	8	-0.1	-0.2	0.01	0.04
9	9.2	7.2	-0.5	-1	0.25	1
10	9	6	-0.7	-2.2	0.49	4.84
11	9	6	-0.7	-2.2	0.49	4.84
<b>Σ</b>	<b>106.2</b>	<b>90.4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1.63</b>	<b>16.92</b>
<b>M</b>	<b>9.7</b>	<b>8.2</b>				

実験のクラスの平均点は 9.7 である。コントロールのクラスの平均点は 8.2 である。実験のクラスの標準偏差は 0.38 である。コントロールのクラスの標準偏差は 1.23 である。その後、テストの差を探す。

$$t_0 = \frac{M_x - M_y}{SEM_{xy}}$$

$$t_0 = \frac{9.7 - 8.2}{0.4}$$

$$t_0 = \frac{1.5}{0.4}$$

$$t_0 = 1.07$$

データ分析の結果によって有意性水準5%、t得点のdb 21は2.08。そして、t得点は1.07。t得点 < t表、有意味は $H_k$ 拒否され、 $H_0$ 断れた。つまり、実験のクラスとコントロールのクラスは有意な差はない。

c. *Normalized gain*

*Normalized gain* で「Word square」のメディアの結果を知る。

実験のクラス					コントロールのクラス				
番	被験者	T1	T2	G	番	被験者	T1	T2	g
1	A	3	9	0.85	1	L	4.8	9.2	0.95
2	B	7.2	9.8	0.92	2	M	4.4	6	0.29
3	C	6.6	9	0.70	3	N	4.6	8	0.68
4	D	5.6	9.8	0.95	4	O	4.2	9.6	1
5	E	7	10	1	5	P	4.4	8.6	0.80
6	F	4.6	10	1	6	Q	4.6	9.4	0.96
7	G	5.6	9.8	0.95	7	R	4.4	7.2	0.53
8	H	7	10	1	8	S	4.4	9	0.88
9	I	8.4	10	1	9	T	3.8	8.2	0.75
10	J	4.2	9.2	0.86	10	U	4.6	9.2	0.92
11	K	4.6	9.6	0.92	11	V	4.6	6	0.28
Σ				10.15	Σ				8.04
M				0.92	M				0.73

表によると、*normalized gain* の実験のクラスは 10.15 である。*normalized gain* のコントロールのクラスは 0.92 である。つまり、「*word square*」のメディアの結果は非常に効果的である。

## 2. アンケートのデータ分析

アンケートのデータの結果は多くの学生が日本語のを学ぶことに興味を持っていると結論付けた。クラスでの学習への関心から見るができる。学習の中で学生は聴解と会話がむずかしい。それは、学習者の語彙が忘れやすいからである。多くの同様の語彙と多くの語彙を覚えている。学習者も「*word square*」のメディアは気持ちを楽しくして、日本語を学ぶため非常に効果的と述べた。

## III 結び

データ分析の結果によって有意性水準 5%、t 表 db 21 は 2.08 と t 得点は 1.07。そして、t 得点 < t 表、有意性は  $H_0$  拒否された。実験のクラスとコントロールのクラスは有意性がない。*Normalized gain* を使うのは実験のクラスとコントロールのクラスに効果的で、実験の平均点はクラスは 0.92 とコントロールのクラスは 0.73。また、「*word square*」のメディアは気持ちを楽しくして、日本語を学ぶため非常に効果的である。

## 参考文献

- [1] Arikunto, Suharsimi. 2013. *Prosedur Penelitian Suatu Pendekatan Praktik*. Jakarta: PT Rineka Cipta.
- [2] Arsyad, Azhar. 1997. *Media Pengajaran*. Jakarta: PT RajaGrafindo Persada.

- [3] Daryanto. 2012. *Media Pembelajaran*. Bandung: PT Sarana Tutorial Nurani Sejahtera.
- [4] Djiwandono, Soenardi. 2008. *Tes Bahasa Pegangan Bagi pengajar Bahasa*. Jakarta: PT Indeks.
- [5] Hake, R.R. 1999. Analizing Change/Gain Scores. [Online]. Tersedia: <http://www.physics.indiana.edu/~sdi/AnalyzingChange-Gain.pdf>. [18 November 2012]
- [6] Kustandi, Bambang Sutjipto. 2013. *Media Pembelajaran*. Bogor: Ghalia Indonesia.
- [7] Minna no Nihongo I みんなの日本語 (Referensi Kata-kata dan Informasi). Japan: 3A Corporation
- [9] Mujib, Nailur Rahmawati. 2011. *Metode Permainan-permainan Edukatif dalam Belajar Bahasa Arab*. Yogyakarta: Diva Press.
- [10] Ningsih, Nur. 2015. *Efektifitas Media Permainan Word Square dalam Penguasaan Kosakata bahasa Prancis pada Keterampilan Membaca*. Yogyakarta: Jurusan Pendidikan Bahasa Prancis Fakultas Bahasa dan Seni Universitas Negeri Yogyakarta.
- [11] Purwanto. 2012. *Instrumen Penelitian Sosial dan Pendidikan*. Yogyakarta: Pustaka Pelajar.
- [12] Sadiman, dkk. 1990. *Media Pendidikan*. Jakarta: Pustekkom Dikbud.
- [13] Sanaky. 2015. *Media Pembelajaran Interaktif-Inovetif*. Yogyakarta: Kaubana Dipantara.
- [14] Sudjana, Nana., dkk. 2001. *Penelitian dan Penilaian Pendidikan*. Bandung: Sinar Baru.
- [15] Sudaryono, dkk. 2013. *Pengembangan Instrumen Penelitian Pendidikan*. Yogyakarta: Graha Ilmu.

- [16] Sugiyono. 2015. *Statistik Nonparametris Untuk Penelitian*. Bandung: Alfabeta.
- [17] Sugiyono. 2015. *Metode Penelitian Kombinasi (Mixed Methods)*. Bandung: Alfabeta.
- [18] Sudjianto, Ahmad Dahidi. 2004. *Pengantar Linguistik Bahasa Jepang*. Jakarta: Kesaint Blanc.
- [19] Sutedi, Dedi. 2011. *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.
- [20] Tarigan, Guntur 2008. *Membaca Sebagai Suatu Keterampilan Berbahasa*. Bandung: Percetakan Angkasa.
- [21] Tarigan, Guntur 1989. *Pengajaran Kosakata*. Bandung: Angkasa
- [22] Uno, Nurdin Mohammad. 2015. *Belajar Dengan Pendekatan PAILKEM*. Jakarta: PT Bumi Aksara
- [23] Yulianti. 2013. *Penggunaan Model Word Square dalam Penguasaan Kosakata Bahasa Inggris*. Kebumen: Mahasiswa Program Transfer S1 PGSD Kampus IV Kebumen.